

一般不妊治療費助成の申請はお済みですか

保健センター ☎(93) 8300

平成29年度分(平成29年3月から平成30年2月までの診療分が対象)の一般不妊治療費助成制度の申請期限は、平成30年3月30日(金)までです。期限を過ぎると申請できませんのでご注意ください。なお、期限が近づくにつれて窓口が混雑しますので、なるべく早めに保健センターへ申請してください。また、申請受付の際には領収書の確認などで時間を要しますので、余裕を持ってお越しいただくか、あらかじめ来所予約をお取りください。

▼対象者

- ・不妊症と診断され、一般不妊治療を受けた戸籍上の夫婦
- ・夫と妻の前年の所得の合計が730万円未満であること
- ・夫または妻のいずれか一方、又は両方が扶桑町に住所を有すること
- ・医療保険に加入していること
- ▼対象治療 産科、婦人科、産婦人科、泌尿器科、皮膚泌尿器科を標榜する医療機関で受けた、ホルモン療法や人工授精等の一般不妊治療及び検査
- ▼助成金額 自己負担額の1/2相当額(1年度当たり上限額5万円)
- ▼助成期間 助成を開始した診療日の属する月から連続した2年間
- ▼必要書類等 保健センターで配布、

風しんワクチン予防接種費用の助成申請はお済みですか

保健センター ☎(93) 8300

平成29年4月1日接種分から風しんワクチン予防接種費用を助成していますが、申請はお済みですか。申請期限は、平成30年3月30日(金)までです。期限を過ぎると申請できませんのでご注意ください。

※妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合、胎児が風しんウイルスに感染して、「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる確率が高くなります。風しんの感染防止や先天性風しん症候群の予防のために、接種を行います。予防接種は自らの意思で行うものです。接種の必要性を風しん抗体検査で調べることをおすすめします。(注)

▼対象者 妊娠を予定又は希望している女性及びその夫

※妊娠中の方は接種できません。また、風しんにかかったことがある方を除きます。

▼助成金額 接種費用の1/2 (上限額 5,000円)

※生活保護、町民税非課税世帯に属する方は全額無料で接種をすることができます。

▼助成回数 1回限り

または、扶桑町ホームページからダウンロードしてください。

集団がん検診のお知らせ

保健センター ☎(93) 8300

集団がん検診とは、あらかじめ決まった日時に保健センターで行うがん検診です。希望される方は、保健センター窓口、もしくは電話でお申し込みください。

※扶桑町国民健康保険に加入している方は、一部負担金をお支払いの際に健康保険証を提示されると、無料で受診できます。

実施日	胃がん 800円 40歳以上の方	大腸がん 400円 40歳以上の方	乳がん 600円 *40歳以上の方	子宮頸がん 700円 *20歳以上の方	申込み
3月9日(金)	◎女性優先	◎	◎	◎	受付中

*今回の胃がん検診は女性優先日ですので、ご了承ください。
*乳がん検診・子宮頸がん検診については2年に1回の受診となります。
平成29年度は奇数年(和暦)生まれの方が対象となります。
(ただし、偶数年生まれの方で平成28年度未受診の方は受診できます。)

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種はお済みですか

保健センター ☎(93) 8300

対象者には、6月頃に保健センターから案内を通知しましたが、接種は済みですか。平成29年度の対象者は、左記の生年月日の方で過去に接種をしたことがない方です。

平成29年度の対象者

生年月日
昭和27年4月2日から昭和28年4月1日生まれの方
昭和22年4月2日から昭和23年4月1日生まれの方
昭和17年4月2日から昭和18年4月1日生まれの方
昭和12年4月2日から昭和13年4月1日生まれの方
昭和7年4月2日から昭和8年4月1日生まれの方
昭和2年4月2日から昭和3年4月1日生まれの方
大正11年4月2日から大正12年4月1日生まれの方
大正6年4月2日から大正7年4月1日生まれの方

接種日当日に60歳から64歳までの方で、心臓・腎臓・呼吸器に重い病気(身体障害者手帳1級程度)のある方、またはヒト免疫不全ウイルスによる機能障害(身体障害者手帳1級程度)のある方も対象になります。

▼助成方法 償還払い(払い戻し)

※医療機関で接種後、直接医療機関に費用をお支払いください。後日、保健センターで費用助成の申請をしてください。

▼必要書類 身分を証明するもの、領収書(原本)、印鑑、通帳

(事前に風しん抗体検査を受けた方は結果をお持ちください。)

※保健センター行事の都合により、駐車場及び、窓口が大変混雑する恐れがありますので、ご了承ください。

▼申請期限 3月30日(金)

(注) 抗体検査について

風しんは、十分な抗体がないと風しんにかかるリスクが高くなります。抗体検査は、医療機関で実施しています。検査の費用は実費負担ですが、初めてのお子さんをご希望の女性は、愛知県風しん抗体検査事業の対象となる場合があります。詳しくは、江南保健所 ☎(56) 2157) にお問い合わせください。

はちまるくん日より「唾液の隠されたパワー」その1

犬山扶桑歯科医師会

日常的に「つば」と呼ばれる唾液は、どちらかというと汚いもの、嫌なものというマイナス・イメージでとらえがちですが、人間にとってなくてはならない、最も重要な液体の一つです。「食

べ物を飲み込むための水分」以上に、全身の健康にかかわる活躍をしています。

かつて歯の治療を受ける子供たちの口の中はすぐに唾液でいっぱいになりましたが、最近では口の中に唾液がたまらない子供が増えている様です。軟らかい食べ物が増えたことで幼少期に必要な「咬む訓練」が出来ていないことが原因ということも言われています。唾液が最も出るのは食事中で、普段の約10倍に、咬まない食事でピーク量が減ると、食事以外の場面でも唾液が出てくなくなります。唾液には歯を強くする性質もあります。食事をする歯の表面に付いたプラーク(歯垢)が酸を作り、酸に弱いエナメル質はわずかですが溶け始めます。これが「むし歯」の始まりで「脱灰(だっかい)」です。脱灰のまま歯が進行してしまうのを防ぐのが唾液の力です。食事で酸性になった歯を中性に戻し溶けたエナメル質を、再び表面に定着させます(このことを再石灰化といいます)。絶えず繰り返される脱灰と再石灰化のバランスをよく保つことが健康な歯の基本です。唾液の少ない口は脱灰の時間が長くなるので酸への抵抗力が弱く、むし歯になりやすい状態になります。



肺炎球菌ワクチン予防接種とは、肺炎の中でも最も多い原因となる「肺炎球菌」による肺炎を防ぐワクチンです。肺炎は高齢になるほど重症化しやすい、死亡率も高くなります。このワクチンによってすべての肺炎を予防することはできませんが、肺炎にかかった場合でも重症化を防ぐことができるとされています。

- ▼接種期限 3月31日(土)まで
- ▼実施場所 扶桑町・大口町・江南市・犬山市委託医療機関
- ※他市町村で接種を希望される方は、保健センターへご連絡ください。
- ▼費用 2,000円
- (医療機関の窓口でお支払いください。)
- ※過去に接種したことがある方、及び対象者の生年月日にあてはまらない方のうち75歳以上で接種を希望される方は助成の制度があります。事前申請が必要ですので保健センターへご相談ください。(ただし、過去に助成の制度を利用したことがある方は除きます。)

年長児のお子さんをもつ保護者の方へ

保健センター ☎(93) 8300

麻しん風しん予防接種の2回目の接種は、小学校就学前1年間(いわゆる年長児)に行います。3月31日までが実施期間で、期間を過ぎると全額実費となってしまいます。対象者の方で、

地域のみなさまへ

カラス営巣に起因する停電事故防止へのご理解とご協力について(お願い)

- 毎年春先から初夏にかけては、カラスの巣作りが多くなります。そこで中部電力では、営巣の早期発見と停電防止措置に、全力を注いでまいります。
- 営巣を発見されましたら、電柱や鉄塔にある番号を控えていただき、下記の連絡窓口へ情報提供をお願いします。

▼営巣発見時の連絡先 中部電力小牧営業所
フリーダイヤル 0120-985-752

